

令和7年度

事務事業点検評価結果報告書
(令和7年度実施事業)

令和8年5月

中津川市教育委員会

はじめに

中津川市は、リニア時代を創る市民像を「学び、活かす市民」として、総合的な教育の理念や方向性を示す「中津川市教育大綱」を策定しました。

教育委員会では「教育大綱」の実現に向けた施策を計画的に実施・推進するための指針として「中津川市教育振興基本計画（よりよいひとりだち中津川ビジョン）」を3期12年の計画期間とし、平成27年6月に策定しました。

令和8年度は、3期目となる「後期計画（令和5年度～令和8年度）」の最終年度となります。新たな計画を策定するため、今まで取り組んできた子供たちの乳幼児期から高等学校を卒業するまでの「育ち」に関わる教育施策や大人自らが参加でき学べる生涯学習・文化スポーツ事業を検証し、次の計画へと繋げていきます。

また、令和6年4月に今後の児童・生徒の適切な学校規模を具体的に示すため「中津川市学校施設等適正配置計画」を策定し、対象となる学校施設等の適正配置を校区の再編も考慮しつつ進めてまいります。

本書では、効果的な教育行政を推進するとともに、市民への説明責任を果たすため、令和7年度に教育委員会が実施した主要な事業について、学識経験を有する方などで構成する評価委員のご意見をいただきながら点検評価を行い、今後の事業方針等を検討した結果を報告します。

また、この点検評価は、前述した教育振興基本計画の進捗管理を兼ねており、評価結果を次年度以降の施策の推進や改善に反映することで、より着実な計画の実現に役立てていきたいと考えています。

今後とも市議会をはじめ、市民の皆様のご厚誼ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年5月
中津川市教育委員会

1 事務事業点検評価について

(1) 教育委員会点検評価制度の導入経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が、平成19年6月に公布され、新たに法第26条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定により、平成20年4月1日から、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。また、点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

(2) 教育に関する事務の管理、執行状況の点検及び評価の実施方針

中津川市教育委員会では、法の一部改正を受けて、次のような方針にもとづき、点検及び評価を実施することとしました。

点検評価の実施方法

① 評価対象事業

中津川市教育委員会が令和7年度に実施した、会議・調査活動及び事務事業の中から主要なものを抽出し重点的に評価を実施します。

《令和7年度評価対象事業》

シートNo.	事業名	課名
1	教育相談の充実（小中学校）	学校教育課
2	保育 ICT システムの導入	幼児教育課
3	健康で、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	生涯学習スポーツ課
4	中津川青少年国際交流協会の自立支援	生涯学習スポーツ課

②一次評価

教育委員会事務局において評価対象事業の自己評価を実施します。

③委員会評価

中津川市教育評価委員会において評価対象事業について意見をいただきます。

④最終評価

教育委員会が、一次評価及び委員会評価の結果をふまえ最終評価を実施し報告書を取りまとめ、議会へ提出するとともに公表を行います。

⑤評価結果の活用

教育委員会は、点検及び評価の結果を、次年度以降の教育目標や基本方針等の策定、その他事務事業の改善等に活用します。

教育評価委員会

①教育評価委員会の設置

中津川市教育委員会点検評価実施要領の規定に基づき、5名による教育評価委員会を設置します。教育評価委員の任期は1年です。

②教育評価委員会の構成

役職名	氏名	公職等
委員	須栗大	大学教授
委員	朝日美智子	地域ミニコミ誌編集長
委員	中村行雄	中津川市校長会代表
委員	森道徳	中津川市PTA連合会副会長
委員	浦田健登	中津川市保育園保護者会連合会長

点検評価の評定基準

①一次評価

評価対象事業について成果、反省点、課題、問題点、改善点等の観点から評価を行います。

②委員会評価

評価委員会を開催し、①の結果をふまえ、対象事業について審議し意見をいただき、それをもって委員会評価とします。

③最終評価

①と②の結果をふまえ、下記により方向性を示したうえで評価を行います。

方向性の判断	
継続	廃止

2 令和7年度教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催状況

令和7年4月～令和7年12月 ※教育委員会会議の議案番号は、暦年で番号を付与しています。

付議 委員会	議案番号	提案・議決年月日 及び審査結果	件名
第5回	議第15号	令和7年4月15日 同日 原案承認	中津川市教育委員会附属機関の委員の委嘱等について
	議第16号	令和7年4月15日 同日 原案承認	中津川市教育研修所設置条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について
第6回	議第17号	令和7年5月21日 同日 原案承認	中津川市教育委員会附属機関の委員の委嘱等について
	議第18号	令和7年5月21日 同日 原案承認	中津川市教育支援委員会委員の委嘱等について
	議第19号	令和7年5月21日 同日 原案承認	中津川市B&G海洋センター運営協議会委員の委嘱等について
	議第20号	令和7年5月21日 同日 原案承認	令和6年度中津川市教育委員会の事務事業点検結果報告書について
	議第21号	令和7年5月21日 同日 原案承認	令和7年度中津川市選奨生の決定について
	議第22号	令和7年5月21日 同日 原案承認	令和7年度岐阜県教科用図書東濃採択地区協議会の設置等について
	議第23号	令和7年5月21日 同日 原案承認	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について
第7回	報第3号	令和7年6月18日 同日 原案承認	専決処分の承認を求めることについて
	議第24号	令和7年6月18日 同日 原案承認	令和8年度使用中津川市立阿木高等学校用教科用図書の採択について
	議第25号	令和7年6月18日 同日 原案承認	令和8年度中津川市立阿木高等学校の入学定員について
第8回	議第26号	令和7年7月9日 同日 原案承認	令和8年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書の採択について
第9回	報第4号	令和7年8月20日 同日 原案承認	専決処分の承認を求めることについて
	議第27号	令和7年8月20日 同日 原案承認	中津川市教員住宅管理規則の一部改正について
	議第28号	令和7年8月20日 同日 原案承認	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について
第10回	議第29号	令和7年9月17日 同日 原案承認	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について
第11回	議第30号	令和7年10月15日 同日 原案承認	中津川市立小中学校管理規則の一部改正について
第12回	議第31号	令和7年11月12日 同日 原案承認	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について
	議第32号	令和7年11月12日 同日 原案承認	令和7年度中津川市選奨生の決定について

第13回	報第5号	令和7年12月10日 同日 原案承認	専決処分の承認を求めることについて
	報第6号	令和7年12月10日 同日 原案承認	中津川市教育支援委員会の結果報告について
	議第33号	令和7年12月10日 同日 原案承認	令和8年度中津川市教職員の定期人事異動方針について

令和8年1月～3月

付議委員会	議案番号	提案・議決年月日 及び審査結果	件名
第1回	報第1号	令和8年1月21日 同日 原案承認	中津川市保育所の設置等に関する条例施行規則及び中津川市認定こども園の設置等に関する譲り施行規則の一部改正について
	議第1号	令和8年1月21日 同日 原案承認	中津川市立小学校及び中学校の就学区域を定める規則等の一部改正について
	議第2号	令和8年1月21日 同日 原案承認	中津川市教育委員会の附属機関の委員の委嘱について
	議第3号	令和8年1月21日 同日 原案承認	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について
	議第4号	令和8年1月21日 同日 原案承認	令和8年度中津川市教育委員会主要事業について
第2回	報第2号	令和8年2月10日 同日 原案承認	中津川市乳児等通園支援事業の認可及び確認手続に関する規則の制定について
	議第5号	令和8年2月10日 同日 原案承認	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について
第3回	報第3号	令和8年3月4日 同日 原案承認	中津川市乳児等通園支援事業実施規則の制定について
	議第6号	令和8年3月4日 同日 原案承認	地方自治法180条の7の規定に基づく中津川市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について
	議第7号	令和8年3月4日 同日 原案承認	令和8年度県費負担教職員の任免等の内申について
	議第8号	令和8年3月4日 同日 原案承認	令和8年度中津川市教育委員会の方針と重点について
第4回	議第9号	令和8年3月24日 同日 原案承認	令和8年度市費負担職員の任免について
	議第10号	令和8年3月24日 同日 原案承認	中津川市立学校事務職員の標準的な職務の内容等を定める規程の制定について
	議第11号	令和8年3月24日 同日 原案承認	中津川市立学校における1年単位の変形労働時間制に関する実施規程の制定について
	議第12号	令和8年3月24日 同日 原案承認	中津川市スポーツ推進委員の委嘱について
	議第13号	令和8年3月24日 同日 原案承認	中津川市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部改正について

（2）移動教育委員会の開催状況

移動教育委員会を開催し、教育委員と保護者が意見を交換することで、教育現場に保護者の意見を反映させます。

令和元年度までは6地区で開催していましたが、令和2、3年度は新型

コロナウイルスの影響により中止とし、令和4年度から教育ICT環境を活用した動画配信方式での開催としました。

発達支援センターにおいては、2回開催しました。

地区等	実施日
発達支援センター つくしんぼ	令和7年10月30日
発達支援センター どんぐり	令和7年11月4日

(3) 総合教育会議の開催状況

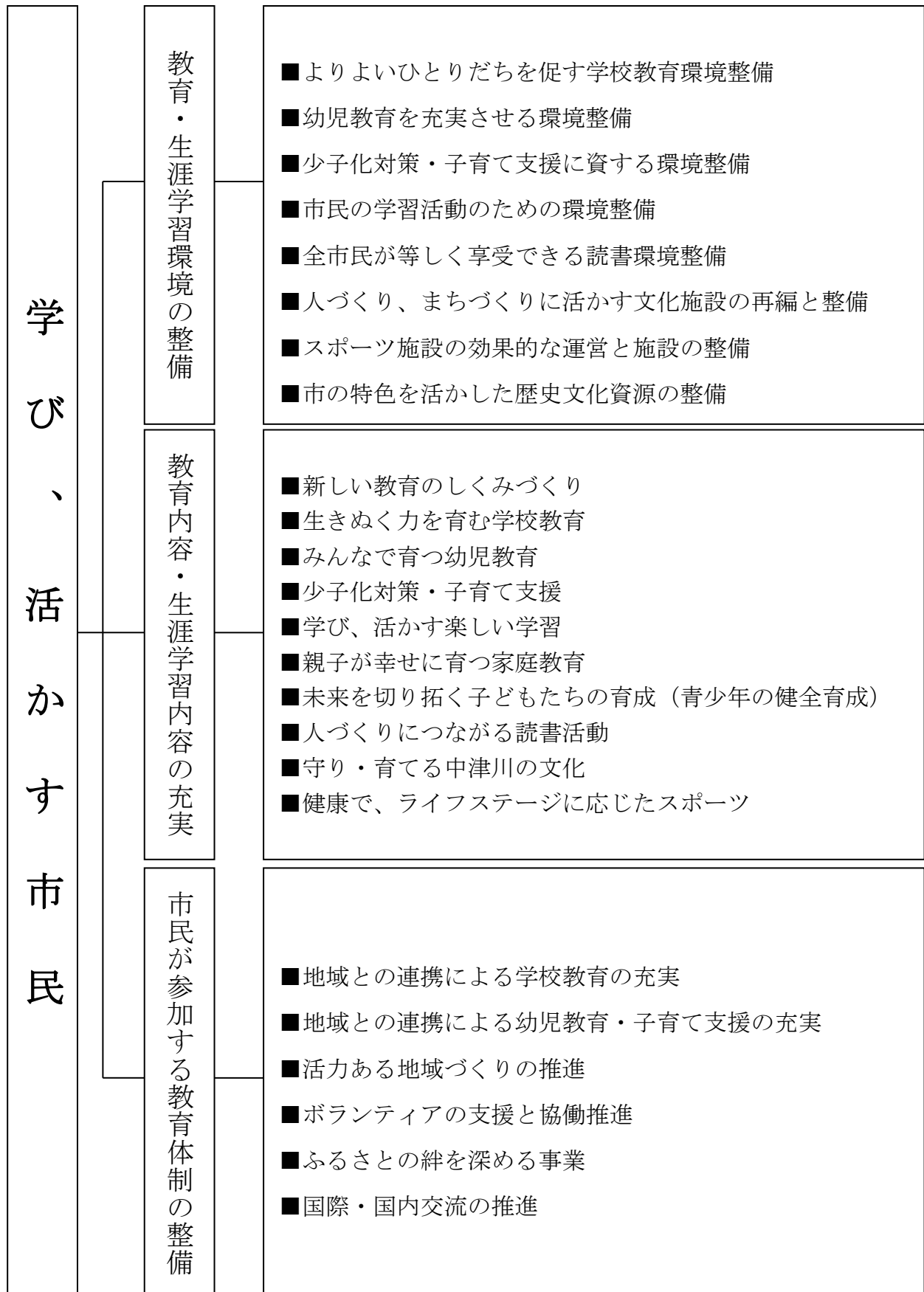
市長と、教育委員会で構成され、教育行政の大綱の策定、教育条件の整備等重点的に講ずべき施策、児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置について、協議・調整を行います。

実施日	報告内容
令和7年12月19日	不登校児童・生徒の現状と今後の対策について
	文化・スポーツ施設使用料の料金改定について
	協議内容
	放課後児童クラブ(学童)の現状と課題について
	美術展開催事業について

(4) その他の活動状況

教育委員会協議会、学校や園の教育長訪問、各種委員会、卒業式などに参加しました。

3 中津川市教育振興基本計画の施策体系図



事業名	教育相談の充実（小中学校）	担当課	学校教育課
------------	---------------	------------	-------

概要説明

この事業は

子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう支援すること

を目的とし

- ・各学校における教育相談週間の実施（2～3回／年）
- ・教職員に対するストレスチェックの実施

計画で進めました。

令和7年度は

・実績 令和7年度全国学力学習状況調査 児童生徒質問紙より

【できたこと】

- 困りごとや不安があるとき、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか→
市小学校75.2%（全国70.6%） 市中学校77.6%（全国73.0%）
- 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
→市小学校93.5%（全国92.2%） 市中学校94.6%（全国92.1%）

【できなかったこと】

- 教職員に対するストレスチェック実施率
- 市小学校 95.5% 市中学校 99.5%

という結果になりました。

一次評価（担当者による自己評価）

◆良かったこと（成果）

- ・教職員に相談できる児童生徒が、全国平均を上回る高い数値となった。

◆課題・問題

- ・全教職員に対するストレスチェックが実施できなかった。

◆今後どうしたいか

- ・児童生徒に向き合うために、教育相談週間の継続実施
- ・教職員が健全に児童生徒への指導に当たるために、全教職員へのストレスチェックと管理職による定期的な面談の実施

◆この事業のアピールポイント（評価してほしい点）

- ・教職員のストレスチェックをすることで、健全に児童生徒に向かうことができる点
- ・教育相談週間で、児童生徒一人一人に向き合うことができる点

評価委員会審議内容

◆事業についての質問

▽教育相談週間は、全児童生徒を割り振って教職員で面談をするのか。

- ・年2、3回実施としているが、多くの学校ではほぼ毎月行っている。子どもたちにアンケートを行い、その回答に基づいて主に担任が面談を実施しているが、アンケートの後半に「このことを誰に相談したいですか」という質問があり、子供が選べるようにしている。

▽教職員のストレスチェックはなぜ出来なかったのか。

- ・原因としては回収が全て出来ていない。その大きな理由として職員がストレスチェックを望まない場合が稀にある。

▽手法は共通なのか、それとも学校に任されているのかどちらなのか。

- ・学校の実態に応じて変えている部分もあるが、基本的には同様同質のものを行っている

◆良いところ

- ・子供たちの本当に素直に自分の今困っていることを知ることが出来る。

◆課題、問題点

- ・ストレスチェックの後にどんな対応をしているのか、市の現状はどうか、これによって改善が見込めるのかといったようなその後をどう対応していくのか。

◆意見

- ・ストレスチェックの実施率は100%に近い数値が出ている。これで十分ではないか。何か他のところに力を入れた方が良いのではないか。
- ・先生方の困っていることは言葉にはされないと思うが、親としても協力できることはさせてもらい、一緒に解決していけるような存在でありたい。

最終評価

方向性の判断	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> 継続 </div>	廃止

いずれかに○をつける

【評 価】

ストレスチェックを続けることによって、どんな方法があるか子どもにとってより良い方法を見つけていくことが大事。

相談できる体制作りが大変必要な事。とおり一片の形ではなく、色々な角度からの対応をためしてほしい。

事業名	保育ICTシステムの導入	担当課	幼児教育課
------------	--------------	------------	-------

概要説明

この事業は

- ・市内の公立保育園、幼稚園及びこども園（11園）に保育所業務支援システムを導入し、保護者の利便性の向上を図るとともに保育現場の業務負担の軽減及び業務効率化を実現させ、安定的で質の高い保育を提供し、安心して子育てできる環境を確保すること。

を目的とし

- ・園及び保護者にとって最適なサービスを導入するため、R5から事業者によるシステムの説明やデモンストレーションを受けました。
- ・システム選定にあたってはプロポーザルを行い、当市の必要とする要件を満たすシステムを選定しました（応募2社）。
- ・システムの持つ全機能を最初から使うと保護者と保育現場の負担が大きいため、R6、R7の2か年で順次機能を追加していく。

計画で進めました。

令和7年度は

- ・ **実績**
【できたこと】
・ R6に開始した登園管理、欠席連絡、連絡帳、お知らせ一斉配信機能に加え、R7は写真共有機能や指導案、園で作成する帳票を導入しました。
- 【できなかったこと】
・ 予定どおり実施したため、該当なし。

という結果になりました。

一次評価（担当者による自己評価）

◆良かったこと（成果）

- ・ 各園に推進委員を設置し、機能の追加にあたっては当該委員会で検討を行い、また、園では職員への指導を行ってもらうことでスムーズに運用できています。

◆課題・問題

- ・ 職員の得手不得手に起因して、各園での活用状況にばらつきがあります。

◆今後どうしたいか

- ・ 園職員及び保護者にシステムが浸透し、使うことが日常とすることができたので、今後はこのシステムにより保育士の負担軽減、業務効率化に取り組んでいきたい。

◆この事業のアピールポイント（評価してほしい点）

- ・ 導入後に保護者に対して実施したアンケートで、満足、すごく満足を合わせて56%（普通は43%）あり、導入の効果が高いことを確認できました。

評価委員会審議内容**◆事業についての質問**

▽各園の活用状況にばらつきがあるとのことだが、市側で研修は行っているのか。

・担当課で計画しているところまでは全園導入と運用は出来ています。さらにという部分で活用状況のばらつきがあります。例えば写真を何枚か載せられる機能がありますが写真をたくさん載せて配信している園もあれば、どうしても字が多くなってしまった園もあります。そのようなばらつきを解消するためにシステム側のサービスにある研修動画を紹介しています。

▽このシステムは公立保育園だけで展開しているのか。

・使用しているシステムは「CoDMON」です。私立の園についてはそれぞれで導入しており「CoDMON」を入れている私立園もあります。

▽写真がデータでもらえるのは良いこと。ただ、スマートフォンを持っていない保護者はいるのか。

・スマートフォンを持っていないから別の方法を考えなければいけないという事案は今のところないです。

▽保護者とは共有された写真はSNS等に上げないというような約束ごとはあるのか。

・導入するにあたり、文書やデータの掲載の仕方を示して、納得をしていただいた上で導入をしています。

◆良いところ

・私立保育園では早くから導入しているところもあり、保護者・保育士にとって出欠席の連絡などをとってみても非常に効率的。

・写真共有機能により今まで園で購入していた写真をデータでもらえるところ。

◆課題、問題点

・分かりやすい表現で送信されるのは良いが（例えば絵文字がたくさん記入されている）保護者向けに送信している文書という事も踏まえ表現の線引きの必要がある。

・このICTシステムを使うことで、どれだけ負担軽減や業務効率化に結びついたかが大切それをどのように測っていくのか。

・写真共有機能でひとりの子だけではなく大勢で写っている場合、その写真を共有するしないという線引きも先生に委ねられるが、どういうふうに委ねられているか気になる。

◆意見

・システムを利用することで保育士の事務が効率化され残業の減少や人手不足の解消に繋がるといい。

最終評価

方向性の判断	
継続	廃止

いずれかに○をつける

【評 価】

親、保育士共に手を煩わせる時間が減少し、子どもをしっかり見つめる時間が増えていくのはとてもいいこと。

導入して楽になる。さらに使いこなすことでもっと楽になるので、導入だけで終わってしまわないように、研修を積んでもらいその先がもっと楽になるといい。

事業名	健康で、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	担当課	生涯学習スポーツ課
------------	--------------------------	------------	-----------

概要説明

この事業は

- ・「スポーツ推進計画」に基づき、市民のライフステージにおけるスポーツ活動及び障がい者のスポーツ活動の推進、総合型地域スポーツクラブへの支援等、一市民1スポーツによる健康づくりに取り組むこと。

を目的とし

- ・「夢の教室事業」の開催と「子ども金メダル事業」の実施
- ・清流木曾川中津川リレーマラソン大会の開催
- ・ウォーキング等の推奨及び軽スポーツ教室の開催による一市民1スポーツの推進
- ・スポーツフェスティバルの開催とヘルスアップ事業との連携
- ・全国健康福祉祭ぎふ大会で卓球競技の開催 等

計画で進めました。

令和7年度は

・実績

【できたこと】

- ・「夢の教室事業」小学5年生対象 16校 26教室
- ・「子ども金メダル事業」 授与式3月開催予定
- ・「清流木曾川中津川リレーマラソン大会」 198チーム 1,404人参加
- ・「一市民1スポーツの推進」 地区体育協会、スポーツ推進委員が各地区で実施
- ・全国健康福祉祭ぎふ大会で卓球交流会、マンカラふれあいレク大会の実施
卓球交流大会 63チーム 425人参加 マンカラふれあいレク大会 72人参加

【できなかったこと】

- ・スポーツフェスティバル 健康福祉祭の開催方法の変更により単独での開催を断念

という結果になりました。

一次評価（担当者による自己評価）

◆良かったこと（成果）

- ・ライフステージ別スポーツイベントを継続実施し、一市民1スポーツ推進に貢献した。
- ・交付金で団体活動を支援し、地域主体のスポーツ推進の土台を維持・強化した。

◆課題・問題

- ・交付金支援が主体のため、各団体の自主性に依存し統一的な推進力が不足する可能性がある。
- ・消極的な層や忙しい現役世代へのアプローチや動機づけが不十分である。

◆今後どうしたいか

- ・現在実施しているライフステージに応じたスポーツイベント・教室を継続しつつ、スポーツ活動に消極的な層や、忙しい現役世代への取り組みを実施し、一市民1スポーツを推進していく。

◆この事業のアピールポイント（評価してほしい点）

- ・トップアスリート招致等により、次世代の子どもたちの心身の成長と夢を育む事業を実施している。
- ・団体活動への行政支援（交付金）により、「地域主体」と「継続的な行政支援」を両立している。
- ・スポーツを「健康増進(ヘルスアップ)」の核として位置づけ、市全体での強力な推進体制を構築している。

評価委員会審議内容

◆事業についての質問

▽ライフステージに応じてというところで、スポーツと高齢者福祉のリンクは何かないでしょうか。

・「貯筋」も大事というところで、公民館講座で筋肉を増強させるための健康体操の推進やヨガ、また福祉と連携してウォーキングコースを構築しています。

▽夢の教室事業の講師はどんな方がくるのか。

・この事業は日本サッカー協会と連携して行っている事業で、サッカーに限らず様々な種目のトップアスリートに来ていただいている。2024年の実績だと、空手・テニス・サッカー・フットサル・キックボクシング・ハンドボール・格闘技・スキーといった様々な選手に来ていただいた。

▽クラブ活動の地域移行が進んでくると、学校の体育の話なのか生涯スポーツなのかというところが難しいところがあるが、その辺りの情報を共有していただきたい。

・地域移行を展開する件は会議を重ねながら地域の方をお願いしていくという形で進めているところ。今の部活動が地域に溶け込んでいけるように進めている。生涯スポーツの範疇からすると部活でくくってしまうと幅を限定してしまうため、ライフステージの中の一つとして、いつでも、どこでも誰もが好きなものを選ぶことが出来るのが理想です。

◆良いところ

◆課題、問題点

・具体的には北部体育館だが、雨が降るとグラウンドがドロドロになってしまう。子どもたちがのびのびとスポーツが出来る環境を整えてほしい。

・室内運動の用具があるが、高齢者にとっては使用方法が分かりづらいものもある。使用方法も含め指導してくれる方がいない。

・24時間とは言わないが、自由な時間に行って使える施設があるといい。

◆意見

・例えば公民館講座のヨガを自宅でも出来るようにライブ配信をして「スポーツ活動に消極的な層」や「忙しい世代」がスポーツに参加しやすいアイデアが必要。

最終評価

方向性の判断	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">継続</p> </div>	<p style="font-size: 24px; margin: 0;">廃止</p>

いずれかに○をつける

【評価】

スポーツをするチャンスとなる市のイベントはしっかり続けていただき、もっとスポーツをしたいと子ども、親、チームの方たちが練習する環境を整えたり、続けるための受け皿支援も必要。

どんな運動をしたら良いかアドバイスをくれるインストラクターがいると相談にいける。

事業名	中津川青少年国際交流協会の自立支援	担当課	生涯学習スポーツ課
------------	-------------------	------------	-----------

概要説明

この事業は

- ・国際感覚を高め地域のリーダーとなれる青少年の健全育成を行うこと
- ・会員相互の親睦を深めること

を目的とし

- ・国際交流事業検討委員会へ交流協会員を派遣する
- ・市民国際交流同窓会を開催する
- ・中学生海外派遣研修事業（タイ研修）の活動支援を行う
- ・中津川市国際交流事業の調査及び分析を行う

計画で進めました。

令和7年度は

・実績

【できたこと】

- ・8月15日（金）～8月20日（水）に交流協会からの派遣委員2名が団長・副団長となり、中学生海外派遣研修（タイ研修）を実施。タイ王国に38名を派遣。
- ・令和7年4月27日（日）に市民国際交流同窓会（タイ研修）を開催し、50名ほどの参加があり親睦を深めた。

【できなかったこと】

- ・コロナ禍以降、会の活動頻度が低くなっており、参加者の追跡調査を行うことができなかった。

という結果になりました。

一次評価（担当者による自己評価）

◆良かったこと（成果）

- ・検討委員会に会員を派遣することで市民の意見を直接反映でき、事業の質が向上した。
- ・スタッフとして交流協会員が多数参加してくれるため、事業の継続が維持されている。

◆課題・問題

- ・コロナ禍で同窓会ができなかったブランクがあり、休眠会員が増加している。
- ・会の活動が学生会員主体の同窓会に偏っており、その他の活動が不足している。

◆今後どうしたいか

・正会員（市民・団体）、賛助会員（法人）、学生会員（同窓生）が協力し、質の高い人材育成と持続的なネットワークの構築を市民目線で進めていけるよう、自立支援を継続していきたい。

◆この事業のアピールポイント（評価してほしい点）

・中学生海外派遣研修に参加した学生が、学生会員となり参画側にまわるなど、自身の貴重な海外経験を行政や地域に還元する仕組みができています。（R7実績：スタッフ33名中7名が過去学生参加経験者）

評価委員会審議内容

◆事業についての質問

▽中津川市国際交流事業の調査及び分析を行うとあるが、どのように行われて、何かデータはあるのか。分析が大事だと考えるがどうか。

・調査は中学生がタイ研修へ行く際の現地状況調査のこと、分析については協会役員とは研修へ行った子どもたちのその後の追跡調査が大事だと認識しているが出来ていない状況。

▽タイ研修の自己負担は必要か。

・必要。現在は9万円の負担が必要。

▽事業名に「自立」とあるということは、協会だけでなんとかしていく事業にしたいということか。何を自立させようとしているのか。

・あるべき姿としては、青少年の国際交流協会がスタッフと協力して主催できるといいなという大きな目標を持っている。

◆良いところ

・一度辞めてしまうと二度と復活しないと思うので、事業を継続できているところがとても大事だと思う。

◆課題、問題点

・地域のリーダーとなる人材を育てるということからも事業の分析が必要。今後参加する人には、事前に何年後には調査をするという条件を入れておくのも手だと思う。

◆意見

・事業に参加した人たちの追跡調査を実施し、地域のリーダーを育てるんだというデータを集めて協会の自立に生かしていくといいのではないか。

最終評価

方向性の判断	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 80%; margin: auto; padding: 10px; display: inline-block;"> 継続 </div>	廃止

いずれかに○をつける

【評 価】

中学生のレベルで国際交流をどうやって広げていけばいいのかを事業を継続しながら検討していただきたい。

この事業で子どもたちの成長は本当に素晴らしい。いかに中津川に国際交流を広げて行くかという事も大事。

令和6年度に評価を受けた事業の現状

通番	年度	評価対象事業 担当課	評価	評価当時の内容・実績 評価内容	現状	今年度（令和7年度）の内容・実績	備考
1	R6	学力アッププログラムの推進 【教育研修所】	継続	<p>【内容】 家庭では「生活習慣」、園・学校では「学習習慣」と、互いに役割分担をし、子どもが学習や運動に一生懸命向かうことができるようサポートすること</p> <p>【実績】 「毎日朝食を食べている」「毎日同じくらいの時刻に起きている」という調査項目について全国の数値を上回った。</p> <p>【評価内容】 生活習慣は継続することが大切。改善点として子どもや保護者の意見も聞き、より良い方向へ時代と共に内容をバージョンアップしながら事業を継続してほしい。</p>	継続	<p>【内容】 家庭では「生活習慣」、園・学校では「学習習慣」と、互いに役割分担をし、子どもが学習や運動に一生懸命向かうことができるようサポートすること</p> <p>【実績】 ・朝ごはんを食べる習慣は、ほぼ身に付いている。（小学校97.0% 中学校93.9%） ・早寝の習慣が身に付いている。10時以降に寝る児童生徒数は、小学校では19.4%（-6.4%）、中学校では77.0%（-7.4%）と減少している。 ・「自分の学習・生活習慣をモニターし、改善できる力を育成する」というゴールに向け、学力アッププログラムと各校独自の取組とを融合させた発展的な取組を行うことで、より自分事として考えられるようになった。</p>	
2	R6	子ども自立援助事業 【学校教育課・教育研修所】	継続	<p>【内容】 不登校児童生徒の学校復帰を目指すため、教育支援センターにて支援を行うとともに、不登校傾向にある児童生徒の未然防止のため、学校や家庭生活における個々の状況に合わせたきめ細かな支援を行うこと。</p> <p>【実績】 ・スクールソーシャルワーカーによる面談 ・教育支援センター利用者数前年比-20名 ・不登校児童生徒数前年比-7名</p> <p>【評価内容】 子ども達の様々な受け皿があるということは良いこと。学校、保護者はきめ細かく注意を払い綿密に連携することが重要です。相談業務にあたるスクールソーシャルワーカーの増加も検討いただきながら支援を継続してほしい。</p>	継続	<p>【内容】 不登校児童生徒の学校復帰を目指すため、教育支援センターでの支援やスクールソーシャルワーカーを派遣することで、学校や家庭生活における個々の状況に合わせたきめ細かな支援を行うこと。</p> <p>【実績】（令和7年12月現在） ・教育支援センター利用者12名 ・スクールソーシャルワーカーによる対応家庭件数64件 ・不登校児童生徒数158名（令和6年度比-5名）</p>	
3	R6	郷土の先人顕彰事業 【文化振興課】	継続	<p>【内容】 全国絵画公募「熊谷守一賞展」を開催することにより、郷土が生んだ孤高の画家熊谷守一画伯の偉業を顕彰し、未来を担う創造性豊かな作家の創作活動の奨励や地域文化の高揚を図ること</p> <p>【実績】 ・全国から184点の出品があり、58点の入賞作品が決定 ・10/12～10/20にかけて、7・t7付知工芸7'ラザ'にて入賞作品を実施し520名が訪れた。</p> <p>【評価内容】 重要史跡としての認識を高めることが大切。準備修理中の今しか見ることが出来ない楽しみをたくさんアピールし、歴史だけでなく建築や生活、人との関わりなどの多面から落合本陣を掘り起こしてほしい。</p>	継続	<p>【内容】 全国絵画公募「熊谷守一賞展」を開催することにより、郷土が生んだ孤高の画家熊谷守一画伯の偉業を顕彰し、未来を担う創造性豊かな作家の創作活動の奨励や地域文化の高揚を図ることを目的に3年に1度開催する。</p> <p>【実績】 令和7年度は未実施 （参考） ・第10回前田青邨記念大賞の開催及び市民・子ども向け美術ワークショップを新たに企画・実施。 実績：応募数160点、入選・展示40点 来場者数 展示会703人（4日間） ワークショップ453人（1日間）</p>	
4	R6	中山道歴史資料館事業 【鉱物博物館】	継続	<p>【内容】 ・江戸時代から明治時代の中山道に関わる、古文書等の資料収集・研究・展示等を中心に行うとともに、市民の生涯学習や文化活動を積極的に支援する。</p> <p>【実績】 ・文学講座、歴史講座の開催 ・中津高、中津商業、坂下高校が地域学習の一環として来館 ・上期企画展「古文書に見る自然現象記録 中津川でオーロラが見えた？」 ・下期企画展「古代坂本郷の大屋根と大動脈～森林・河川・道の軌跡」 ・無料入館日に廃線となった北恵那鉄道のペーパークラフト、歴史イブリー、番音機懐かしの鑑賞会等 ・英語の観光パンフレットを数種類準備し観光案内にも対応</p> <p>【評価内容】 江戸時代の主要道が通っていることは市にとって良いこと。ターゲットをしっかりと絞ってそこに合わせた催し物をこまめに入れ替えていくことが大事。また、広く発信することもとても大切なことだが、資料収集や研究作業など地道な流れも途絶えることのないようにしてほしい。</p>	継続	<p>【内容】 ・江戸時代から明治時代の中山道に関わる、古文書等の資料収集・研究・展示等を中心に行うとともに、市民の生涯学習や文化活動を積極的に支援する。</p> <p>【実績】 ・文学講座の開催 ・古文書同好会、歴史勉強会の活動支援 ・翻刻ボランティアによる古文書資料調査の実施 ・市内小学校（南小、東小、西小）、高校（中津高、中津商業、坂下高校）が地域学習の一環として来館 ・上期企画展「中津川レトロ展」 ・下期企画展「昭和100年 中津川レトロ総集編」 ・無料入館日に廃線となった北恵那鉄道のペーパークラフト、歴史クイズラリー、番音機懐かしの鑑賞会等 ・英語の観光パンフレットを数種類準備し観光案内にも対応</p> <p>【実績】</p>	